

事業所名

ことばの教室オレンジ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

5月

13日

法人（事業所）理念		ことばときこえに支援が必要なお子さんに、言語聴覚士等による個別療育を提供する。					
支援方針		①お子さん一人一人に合わせた言語（language）、発話（speech）に対する個別指導をお子さんが楽しめるように行う。 ②保護者様への情報提供や生活場面での助言 ③セルフアドボカシーに関する支援					
営業時間		8時	30分	17時	0分	送迎実施の有無	なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	体、心身の状態、体調等に関する語彙を取り入れ、自分の状態を言語化できるよう支援する。 普段の生活に即した語彙の獲得や、普段の生活の中で取り入れられる関わり方を助言する。 難聴のあるお子さんについては、聞こえの様子が普段と変わらないか確認する。					
	運動・感覚	言語面へのアプローチが主となるが、活動の中に粗大・微細運動も取り入れ、評価・促進を行う。 工作等での微細運動・手指運動の促進。 粗大運動を行いながらコミュニケーション意欲を促進する関わりを取り入れる。					
	認知・行動	言語の基盤となる認知発達を促進する課題も取り入れる。 大小比較や異同弁別等の課題や、着席行動、相互のやり取りなどの行動面も含め支援を行う。					
	言語 コミュニケーション	コミュニケーション意欲を高めるよう活動内容を工夫し、伝達意欲や相互のやり取りを促進する。 語彙の増加、文章構成、助詞の使用、文字、数字等、お子さんの様子を評価し最近接領域についてアプローチを行う。					
	人間関係 社会性	やりもらい関係や、他者視点についても取り入れる。 集団生活場면을想定し、必要なやり取りや語彙の獲得を促す。 自分の特徴や必要な配慮について、言語化し他者に伝えるロールプレイを行う。					
家族支援		保護者同室にて療育を行い、参加していただくことでその場ですぐフィードバックや助言を行う。 必要に応じて保護者勉強会を行う。			移行支援		必要に応じて、所属園や学校への訪問を行う。 就学時支援終了となるケースについては、就学後の支援担当者への引き次を行う。
地域支援・地域連携		近隣自治体や関連機関（幼稚園・保育園・学校・医療機関等）と情報交換等の連携を図る。			職員の質の向上		定期的な研修の実施。 外部勉強会に参加した場合の伝達講習の実施。
主な行事等		同障のお子さんが複数いらっしゃる場合、保護者勉強会や交流会を計画する。 個別支援であるためイベントは行うことを想定していないが、支援の中に季節に応じた活動を取り入れる。					